

「2020年度分 ホールにおける電気使用量等調査」結果（概要）

2021年 12月 28日
全日本遊技事業協同組合連合会

調査対象ホール数 8,105ホール ※2020（令和2）年度末の組合員ホール数
回答ホール数 7,356ホール 回答率90.8%

（1）ホールにおける電気使用量

電気使用量有効回答ホール数 7,184ホール 有効回答（カバー）率88.6%

総使用量 5,350,624,063 kWh

※有効回答を集計した実数値に基づくCO2排出量

（電気事業連合会の公表値（0.453kg-CO2/kWh 2007年度実績）を使用して算定）
5,350,624,063kWh×0.000453 t-CO2/kWh=2,423,833 t-CO2 **242万 t-CO2**

【参考】 調査対象ホール数（8,105ホール）に換算した場合のCO2排出量の推計値
8,105ホール×2,423,833 t-CO2÷7,184ホール=2,734,572 t-CO2 **273万 t-CO2**

【参考】 CO2排出量削減実績

年度	CO2排出量 (万 t-CO2)		対前年度比 (%)		対2007（基準）年度比 (%)	
	実数値	推計値	実数値	推計値	実数値	推計値
2007 (H19)	362	471	—	—	—	—
2019 (H31・R1)	282	317	△2.4 (7万 t-CO2 減)	△1.6 (5万 t-CO2 減)	△22.1 (80万 t-CO2 減)	△32.7 (154万 t-CO2 減)
2020 (R2)	242	273	△14.2 (40万 t-CO2 減)	△13.9 (44万 t-CO2 減)	△33.1 (120万 t-CO2 減)	△42.0 (198万 t-CO2 減)

※全日遊連「低炭素社会実行計画」

ホールが使用した電気使用量から換算したCO2排出量を2030（令和12）年度までに基準年度である2007（平成19）年度比で22%削減する。

遊技台数有効回答ホール数	7, 269ホール	有効回答（カバー）率	89.7%
延床面積有効回答ホール数	6, 258ホール	有効回答（カバー）率	77.2%
営業時間有効回答ホール数	6, 775ホール	有効回答（カバー）率	83.6%
営業日数有効回答ホール数	5, 443ホール	有効回答（カバー）率	67.2%

○「排出量／延床面積」	259.8kg-CO2/m ²
○「排出量／（延床面積×平均営業時間）」	19.2kg-CO2/m ² ・h
○「排出量／（延床面積×平均営業時間×平均営業日数）」	55.5g-CO2/m ² ・h
○「排出量／台数」	724.9kg-CO2/台
○「排出量／（遊技台数×平均営業時間）」	53.7kg-CO2/台・h
○「排出量／（遊技台数×平均営業時間×平均営業日数）」	154.9g-CO2/台・h

※「排出量／延床面積」…1平方メートル当たりの年間CO2排出量

※「排出量／（延床面積×平均営業時間）」…営業時間が1時間とした場合の1平方メートル当たりの年間CO2排出量

※「排出量／（延床面積×平均営業時間×平均営業日数）」…営業時間1時間当たりの1平方メートル当たりのCO2排出量

※「排出量／台数」…遊技機1台当たりの年間CO2排出量

※「排出量／（遊技台数×平均営業時間）」…営業時間が1時間とした場合の遊技機1台当たりの年間CO2排出量

※「排出量／（遊技台数×平均営業時間×平均営業日数）」…営業時間1時間当たりの遊技機1台当たりのCO2排出量

※原単位は経年変化を比較することで効率の変化を明らかにすることができる。調査対象ホールの面積、台数、営業時間、営業日数などが異なることから、将来へ向けた目標設定の指標とするために算定。

○電力会社別電気使用量

電力会社名	電力使用量 (kWh)	電力会社名	電力使用量 (kWh)
東京電力エナジーパートナー	689,764,739	シン・エナジー	44,589,625
九州電力	680,506,811	F-Power	42,516,052
中部電力	418,817,434	HTB エナジー	42,383,564
関西電力	376,775,836	沖縄電力	40,890,664
東北電力	376,177,642	エネット	39,925,420
テコカスタマーサービス	329,412,088	エバーグリーン	36,140,267
四国電力	197,610,464	エビネットコミュニケーションズ	35,677,388
北海道電力	173,510,849	丸紅新電力	34,000,750
中部電力ミライズ	165,427,730	ウエスト電力	29,540,648
中国電力	164,534,907	ENEOS	24,212,866
九電みらいエナジー	148,774,016	シナジアパワー	21,775,961
アイ・グリッド・ソリューションズ	94,629,297	USEN	18,339,056
北陸電力	86,018,663	その他の電力会社（合算）	189,577,272
出光	84,801,750	電力会社名無記載	698,503,142
エナリス	65,789,162	合計	5,350,624,063

○最大需要電力（デマンド値）

有効回答ホール数	6, 246ホール	有効回答（カバー）率	77.1%
----------	-----------	------------	-------

(2) ホールにおけるCO2排出抑制対策（複数回答）

【既に導入した対策】

回答ホール数 7, 356ホール

ホールにおけるCO2排出抑制対策	回答ホール数	回答率(%)
担当者を決めて節電対策を行っている	4,225	57.4
電気の「見える化」設備を導入している（契約用の計量器は除く）	2,916	39.6
LED照明を導入している	5,358	72.8
空調の設定温度を（節電寄与のため）ルール化している	4,803	65.3
営業時間以外は、ホール照明を全灯していない	5,900	80.2
電力ピークカット対策を行っている	2,402	32.7
ホールに太陽光発電設備を設置している	280	3.8
省エネに配慮された建物構造になっている	507	6.9
その他	96	1.3
無回答	818	11.1

【今後導入したい対策】

回答ホール数 7, 356ホール

ホールにおけるCO2排出抑制対策	回答ホール数	回答率(%)
担当者を決めて節電対策を実施	188	2.6
電気の「見える化」設備を導入（契約用の計量器は除く）	180	2.4
LED照明を導入	182	2.5
空調の設定温度の（節電寄与のため）ルール化	75	1.0
営業時間以外は、ホール照明を全灯しない	21	0.3
電力ピークカット対策を実施	172	2.3
ホールに太陽光発電設備を設置	466	6.3
省エネに配慮された建物構造に改装	154	2.1
その他	2	0.0
無回答	818	11.1

(3) 2050年までに温室効果ガスの排出量をゼロ（カーボンニュートラル）にする日本の目標について

回答ホール数 7, 356ホール

1. 菅総理（当時）が2020年10月26日の臨時国会所信表明演説において「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言したことについて	回答ホール数	回答率(%)
知っている	4,866	66.2
知らなかった	1,574	21.4
無回答	916	12.5

回答ホール数 7, 356ホール

2. 「カーボンニュートラル」の目標達成のために 貴ホールとして考えられる更なる具体的な対策について	回答ホール数	回答率 (%)
省エネ設備の導入	2,920	39.7
従業員の意識向上	5,517	75.0
再生可能エネルギーで発電する電力会社との契約	941	12.8
その他	444	6.0
無回答	1,003	13.6

回答ホール数 7, 356ホール

3. 設備ごとのエネルギー使用状況の把握の有無について	回答ホール数	回答率 (%)
把握している (※)	5,577	75.8
把握していない	836	11.4
無回答	943	12.8

※エネルギー使用割合について (有効回答数 : 835)	平均 (%)
遊技機・周辺機器	36.3
空調設備	41.0
照明設備	18.6
その他	4.1

以上